

評議員会議事録

日 時：2003年9月26日(金) 12:30～13:25

場 所：愛媛大学城北キャンパス会議室

出席者：井上，太田，岡村，加藤，小山，須藤，千田，高橋，福井，牧島，吉井，家，池内，小杉，佐藤(勝)，高津，松田，渡部 以上18名

欠席者：海部，柴田，高原，舞原，石黒，木下，佐藤(修)，谷口，中村，野本，長谷川，林 以上12名

有効委任状提出者：海部，高原，舞原，石黒，木下，佐藤(修)，谷口，中村，野本，長谷川，林 以上11名

ほかに理事会から祖父江，若松，杉山，郷田，関井，松原，土居が，事務局から東條が出席した。

また，古在由秀氏が説明員として出席した。議事に先立ち，議長および署名人を選出した。

議 長：太田耕司

署名人：佐藤勝彦，須藤 靖

報 告

1. 前回議事録の確認(資料1)

杉山理事より，前回(7月5日)の評議員会議事が報告され，原案どおり承認された。

2. 開催中の年会について

開催中の年会に関して，講演数，参加者数などの基本事項が土居理事より報告された。講演数は595件であり過去最高であったとのこと。また，記者発表とその後の報道状況に関しても報告があった。

3. 8月7日記者会見と要望書の送付について(資料2)

杉山理事，松田理事長から報告があった。記者会見には新聞記者7名が出席し，その後6件以上の記事として紹介されるなど，大きな反響を呼んだ。なお，要望書の送付に対して，一部からその送付宛先に対する要望や，地方自治体の財政状況の厳しさを訴える手紙などが理事長宛に寄せられた。

4. 創立100周年記念出版事業編集委員会について

杉山理事から長谷川哲夫氏が新たに編集委員に加わったとの報告があり，岡村編集委員長から補足説明があった。

5. 総合科学技術会議に対する声明文について(資料3)

佐藤(勝)評議員から，関連諸学会(5学会)と共同でまとめた標記声明文を，8月中に送付するとの北原物理学学会会長から連絡があったので，小泉総合科学技術会議議長宛に送付されたと思われる，との報告があった。記者会見などは行われていない。

6. 今期総会について

杉山理事より，今期総会の議題などについて報告があった。

7. その他

(ア) 内地留学奨学金の選考について

内地留学奨学金選考委員会西村昌能委員長代理として，杉山理事より，選考の結果3名の方が選ばれたとの報告があった。

(イ) 創立100周年記念出版事業編集委員会報告

岡村編集委員長より、これまでの編集委員会の活動が次のように報告された。基本的方針が決定され、出版社の選定について話し合った。レベルは学部生も読むことが可能な程度で、全部で15巻程度を予定している。現在、各巻の内容について議論を進めていて、編集委員による第1次案を作成し、近いうちに天文学会会員にweb上で公開、広く意見を求める予定である。最終的には、2007年の1年間に15冊全巻を出す計画であり、執筆者は100人規模になる予定。出版社の選定に関連して、8月25日に説明会を行った。出席は5社であり、10月末締め切りで各社に計画書提出を要求した。計画書を検討の上、出版社を決定する予定である。

議 題

1. 回転サーチライト禁止の法制化推進についての要望書について(資料4)

杉山理事より事情説明があり、古在氏(星空を守る会会長)より詳しい補足説明があった。祖父江副理事長が中心となって、理事会と発案者である古在氏が要望書を作成することについて承認された。回転サーチライトという言葉が、具体的にどのようなものを指すのかという疑問や、レーザーガイド星を利用するなど天文関係でも光を上空に打ち出しているの、そちらが同時に規制されないように注意すべきである、などの意見が出された。

2. その他

(ア) 年会の予稿集について

加藤評議員から、今回の年会予稿集に、分量の少ないもの、結果の書いていないものが多く見受けられるので、改善をうながすべきであるとの提案があった。これに対して、土居理事より、特に企画セッションにおいて問題が大きいので、コンビーナにまず予稿がいくようにチェックしてもらい、その後実行委員会に渡すようにシステムを変更するなどの年会実行委員会の取り組みが紹介され、予稿集をよりよいものにするべく呼びかけていくとの報告があった。杉山理事から、完成度の高さをあまり強く要求すぎるあまり、最新の究成果の発表が控えられてしまうことは避けるべきであるとの意見が出された。

(イ) 次回の日程次回の評議員会は、1月24日(土)11:00 から国立天文台(三鷹)で行うことを決定した。

2003年10月23日

議 長 太田耕司

署名人 佐藤勝彦

署名人 須藤 靖